学校番号	１０２

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　国語総合 現代文編」「同　古典編」　（数研出版）						
副教材等	「大学入試漢字 TOP2000」（いいずな書店）「体系古典文法」（数研出版）「体系古典文法学習ノート」（数研出版）「必携 新明説漢文」（尚文出版）「わかる・読める・解ける key&point 古文単語 330 三訂版」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に取り組む姿勢をしっかり身に付けよう。
　・授業中に質問や発言をするなど積極的に参加する。　・宿題等の提出期限を守る。
２．自宅学習の習慣をしっかり身に付けよう。
　・予習復習をする。　・疑問に思った点などを整理し、授業に生かす。
３．国語の基礎力をしっかり身に付けよう。
　・語彙力、文法の力を知識を身に付ける。　・文章の読解の力を身に付ける。

２　学習の到達目標

１．国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
２．思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
３．言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
４．国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で表現されたものを深く理解しようと努めるとともに、言語文化などに対して関心を持ち、国語全般への探究心を持っている。	目的や場に応じ効果的に話し、的確に相手の話を聞き取り、そこから得られた知識や意見を総合的に考え、自分の考えをまとめている。	漢字を正確に読み書きできている。自分の意見や感想を論理的にまとめ、相手や目的、意図に応じて的確な文章で表現し深めている。	文章を的確に読み取り、目的に応じ、複数のテキストなどから幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字・語彙などについての知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （プリント・必要に応じてノート等）	行動の観察 （授業中の発問に対する発言等）	記述の確認及び分析 （授業用ワークシート、宿題、小テスト、定期考査）	記述の確認及び分析、行動の観察（授業用ワークシート、宿題、指名音読、定期考査	記述の確認及び分析 行動の観察 （発問評価、課題小テスト、宿題、定期考査）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	【近代以降】 随想 「知の体力」永田和宏	○	○	○	◎	○	a:自分にとっての「知」とは何か、筆者の見解から示唆を受けながら、自ら考えようとしている。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 C:記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内で確認する。 d:「何の役に立つか」を考える思考パターンと、それと対比させられている考え方について整理する。 e:「無知の知」について学ぶ。	a：行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
		【近代以降】 評論 「水の東西」 山崎正和	○	○	◎	○	○	a:東西の文化の美を理解しようとする。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:筆者の主要な見解を正しく理解し、文章化することができる。 d:対比の関係を押さえて、読解する方法を習得する。 e:近代日本の西洋との関係について学ぶ。	
		【近代以降】 詩 「六月」 茨木のり子 「I was born」 吉野弘 評論 「ものとことば」 鈴木孝夫	○	◎	○	◎	○	a:詩にこめられた思いを読み取ろうとしている。 b:意見交換や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内・考査で確認する。 d:詩の学習と評論から、言葉の役割について考察する。 e:「分節化」など言語にかかわる現代文キーワードを学習する。	
	小説	【近代以降】 小説 「羅翔門」 芥川龍之介	○	○	○	◎	○	a:小説の基本的な読解方法を習得しようとする。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 cd:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、考えを記述しようとする。 e:近代の代表的な小説を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わおうとする。	

1学期	古文入門	【古典】 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」	○			◎	○	a:古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解しようとする。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わおうとする。 e:歴史的仮名遣いを理解しようとする。 e:文語と口語の違い、品詞の種類、活用の概念、係り結びについて理解しようとする。	a：行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
	漢文入門	【古典】 漢文入門 漢文の基礎 ・漢語・漢文の構造 ・訓読のしかた ・書き下し分 ・再読文字	○			○	◎	a:漢文に親しみを持とうとする。 d:漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解しようとする。 e:訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解しようとする。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
	故事成語	【古典】 『戦国策』「漁父之利」 『列子』「朝三暮四」	○			○	◎	a:故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解しようとする。 d:平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解しようとする。 e:漢文訓読の基本事項を確認しようとする。 e:故事成語のもとの意味と、現在の意味との違いについて理解しようとする。	a:発問・授業時の反応 d:発問・定期考査 e:指名読み・定期考査、発問・小テスト
2学期	評論	【近代以降】 評論 「時間と自由の関係について」 内山節	○	○	○	◎	○	a:自分にとっての「時間」について考えメモにまとめる。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:時間についてのエッセイを書く。記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内・考査で確認する。 d:的確に本文を読解する過程で、二つの「時間の自由」について、実生活と結び付けて考えを深めていく。 e:古来「時間」とはどのようなものだったか。時間という概念について学習する。	a：行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び分析 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
		【近代以降】 評論 「無痛化する社会」 森岡正博	○		◎	○	○	a:筆者がどのような意味で「無痛化」という言葉を用いているか考えようとしている。 b:他の生徒と意見を交換する。 cd:「無痛化」の具体例やその意味について文章で説明することができる。 e:評論文の中の具体例の役割について理解する。	

	評論	【近代以降】 評論 「「わらしべ長者」の経済学」 梶井厚志	○	○	○	◎	○	a:身近な例から経済学的な発想に興味を持ち、筆者の見解を適切に把握して読もうとしている。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内・考査で確認する。 d:筆者の見解とそれを補足する具体例や説明文を注意深く読み、論旨を把握する。 e: 一般論から対比を用いて主張する文章展開や、結論部に説得力を持たせるような論の展開の仕方について学ぶ。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び分析 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
		【近代以降】 評論解析 「ネットが崩す公私の境」 黒崎政男	○		◎	○	○	a:インターネットの普及に伴って激変しつつある人間関係の在り方やコミュニケーションの在り方について考えようとしている。 cd:筆者の鋭い洞察力によって読み解かれた高度情報化社会の新しい現実を理解しつつ、情報化社会に対する自覚的な態度を文章で説明することができる。 ce:情報やメディアに関する現代文キーワードについて学習し、今後起こりうる諸問題や対策について考える。	
	小説	【近代以降】 小説 「城の崎にて」 志賀直哉	○	○	○	◎	○	a:現在・過去という深みのある構造の中で人間をとらえようとしている。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 cd:電車の事故にあった「自分」が、療養先で小動物の死に遭遇した時の精神の動きを鑑賞する。 e:小説を契機に、体験や過去を湛えた存在としての風景・人間を見る。簡潔な文体で書かれた文章を通じて、小説の読解力を向上する。	
2学期	漢文	【古典】 『十八史略』「管鮑之交」 『十八史略』「鶏口牛後」	○			◎	○	ade:比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認しようとする。 de:中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解しようとする。 ade:中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養おうとする。 e:漢文読解に必要な句形を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認

2学期	古文	【古典】 『徒然草』「神無月のころ」「丹波に出雲といふ所あり」	○			◎	○	ad:音読を通して古文に親しみ、作者が伝えたいことをつかもうとする。 de:助動詞を中心に、表現や構成に注目しながら文章を注意深く読み、伝えたいことがどのように表現されているかを読み取る。 e:当時の時代背景や価値観に触れながら、現代にも通じる心情を見出す。	
3学期	評論	【近代以降】 評論 「他者を理解するということ」 鷲田清一	○	○	○	◎	○	a:これまでの学習内容を活用し、論の展開を意識しながら注意深く論旨を読み取ろうとしている。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内・考査で確認する。 d:具体的な説明の役割を理解しながら注意深く論旨を読み取るとともに、「他者理解」について考えを深め、相手の考えを「わかろうとする姿勢」について理解する。 e:これまでの評論読解のための知識を活用しながら、的確に筆者の見解を読み取る。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び分析 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
		【近代以降】 評論 「動的平衡の回復」 福岡伸一	○	○	○	◎	○	a:これまでの学習内容を活用し、論の展開を意識しながら注意深く論旨を読み取ろうとしている。 b:指名音読や考えたことの発言、他者の意見を聞こうとする。 c:記述課題を設定し、本文を正しく読み取れているか授業内・考査で確認する。 d:専門的で難解な語句に注意しながら、論旨を的確に読み取る。 e:これまでの評論読解のための知識を活用しながら、的確に筆者の見解を読み取る。	
		【近代以降】 評論 「記録すること、表現すること」 川田順造	○		◎	○	○	a:指示表現やキーフレーズに着目して評論文を読み、筆者の見解を的確に読み取ろうとしている。 cd:本文中の指示表現やキーフレーズの内容を的確に理解し、文章で詳述・要約する。 e:評論文の中の指示表現やキーフレーズの役割について理解する。	

	古文	【古典】 『土佐日記』 「門出」「帰京」 『伊勢物語』「筒井筒」	○			◎	○	a:平安女流文学へとつながる日記文学の心情描写や、歌物語の世界を読み味わう。 de:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わおうとする。 de:基礎的な古典文法と基本的な古文単語を押さえながら内容を理解しようとしている。 e:助動詞・助詞・敬語のきまりについて理解する。a:これまでに学習した知識を用いて本文を読み、古典文学や和歌を読み味う。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び分析 e:行動の観察及び記述の確認
	漢文	【古典】 『史記』「晏子之御」 漢詩(数編)	○			◎	○	ade:中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解しようとする。 ade:中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養おうとする。 e:漢文読解に必要な句形を理解する。 e:漢詩文の修辞技法を理解し、漢詩文を読み味わう。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解